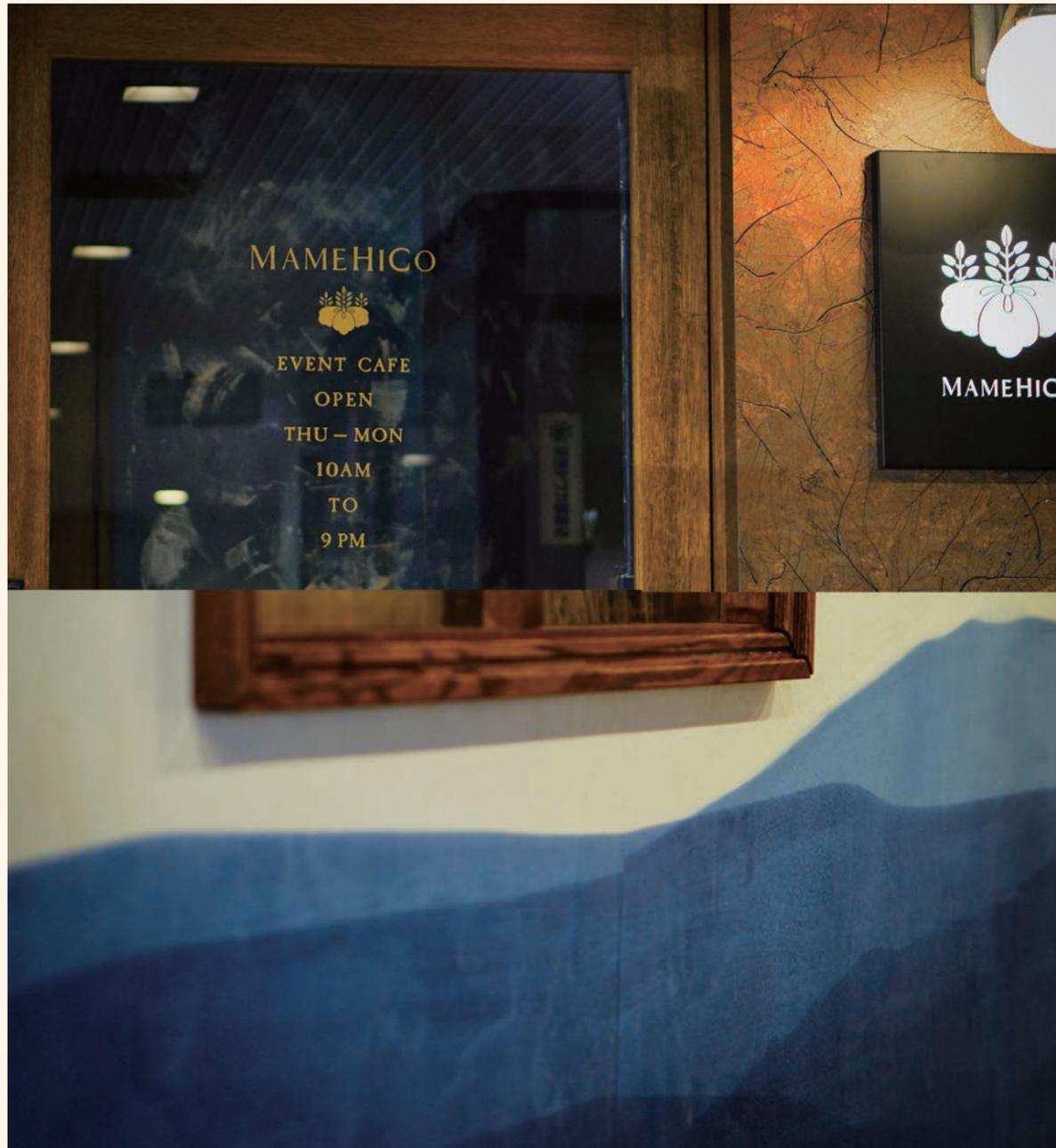


メンバーシップ制のイベントカフェ

MAMEHICO

2022年10月号



東京三軒茶屋 Cafe Mame-Hico 東京都世田谷区太子堂 4-20-4

MAMEHICO 銀座【9/29(木)オープン】東京都中央区銀座 2-2-18 TH 銀座ビル 10F

MAMEHICO 神戸【9/8(木)オープン】兵庫県神戸市東灘区御影山手 1-2-10 御影ガーデンシティ 1F



「それで、悲しんでいた神々は、それを見てはしゃぐのです。はしゃいで、楽しい雰囲気醸し出す。その空気が岩戸の中に伝わっていく。」

そうすればですね、あの天照大神のことで、すから、きつと出てくるでしょう。そのとき、丸出しの天宇受売命は、天照大神にこう言ってもらおうんです。

『あら、天照大御神さん。私達がどうして楽しそうに踊っているか知りたいですか？それはね、あなたより尊い太陽神がいらっしやっただので、みんな喜んで、はしゃいで踊ってるんですよ。』

負けず嫌いの天照大神ことですから、「なにつ!!」と身を乗り出すはずですよ。その瞬間を狙って、岩戸の脇で待機していた力の神、天手力男神（たじからをのみこと）が、天照大神の手を取って岩戸から引きずり出すんです。どうです、このアイデア」

実にくだらない作戦だけどね（笑）、やってみたら成功したってわけ。

天照大神が、暗い岩戸から出てきた瞬間、神々の顔（面）がはつきりと白く光った。

この神話が、「面白」の語源だっているんだね。もともと神様ってのは、くだらないものなんだ。好きになっちゃうね。

これからの時代、世界はますます混沌とし

てくるでしょう。天照大神が、悪事が多すぎて岩戸の中に隠れたように、極夜になるかもしれない。いや、もう極夜になってるのかも。しれない。

その中で生きていくのは大変だけれども、極夜を生きる術を身につけたほうがいい。高度経済成長、バブル経済、明るい時代なら、みんな足並み揃えていけばよかったかもしれないけど、極夜になったら、自分のしたいように生きることだ。

誰でも深いとこまで付き合おうと、良い心、子供の心を持つてるのがわかる。

極夜では、なかなか子どもの心では生きられないから、悪い心で生きようとする。すると自分のことが嫌いになる。

なにかうまくいかないことが起きると、自分が悪いんだ、自分が悪いんだって責めちゃう。

あなたそんなに悪くないよって、ボクは言うね。もつと子供の心でやりたいようにやれば、自分に自信が持てる。そうすれば、自分さえよければいいとか、他人を蹴落とすとか、悪い心は消える。

極夜になっても、みんなが「面白可笑しく」生きられる、そういう場所を、ボクは使命としてね、作らないといけないなと思ってるってわけ。

井川啓央 Ikawa Yoshihiro マメヒコ代表。1973年生。テレビディレクターとしてニューヨークに在住、帰国後、番組制作会社セレンディビティを設立。2005年「カフェ マメヒコ」を三軒茶屋、続いて渋谷に開店。有機農業、文化芸術などを通じたコミュニティづくり、自身の創作活動にも精力的に取り組む。2022年、銀座と神戸に MAMEHICO を開店。

<https://ikawayoshihiro.com/>

MAMEHICO のイベント 2022

マメヒコの井川主催のイベントを神戸と銀座で企画しています。詳細・ご予約はホームページへ <https://mamehico.com/>



MAMEHICO 銀座 9月29日(木)

MAMEHICO 神戸 9月8日(木)

おかげさまで、無事プレオープンしました。年明けのグランドオープンに向けて、たくさんのお来店をお待ちしています。そして、共感いただけたらメンバーになってください。

いまの日本の、世の中は、おかしいと思うことが、いっぱいありますね。おかしいと思うことしかないかもしれない。もうあらゆることがね、末期的な状態だとボクはとらえます。ととっても悲観してませんけど。そういう時代は古今東西、いくらでもありましたから。それでも人間はなんとかしていく。なにかのきっかけで大きく変わる。それまで生き延びていくしか無いと思います。

ボクはテレビ番組を作る仕事をしていたんですね。制作プロダクションとして会社をおこしたのがマメヒコの始まりです。テレビは好きだったからね、面白そうと思ってテレビの世界を志願しました。それで入ったものの、あつという間に幻滅したわけね。現場で働くヒトは気概のあるヒトもなかにはいますよ。けど企画から放送までのシステムがね、歪んでる。システムエラーが起きてるのにそのまま使っている感じ。ものづくりのモラルみたいなものが破綻してると感じたわけです。若

は考えてますけど、相手はいません。なんかながしたいのかわからなくて、カフェは好きでっていう。あつそうねって感じ。

それで採用するんだけど、これまた、笑っちゃうくらい続かないのね。月並みな言い方だけどね、マニュアルがなさそうなお店を志願してくせに、教わってないことはできない、自分でものごとを考えられない、という。本人も悩むんですよ。まさかこんなにできないと思わなかったって、また号泣したりする。自分は今まで何を信じてやってきたんだろうって、愕然としたりする。これね、親がなんにもしてくれなくて、何でも自分でやるしかなかったっていうような子も採用するんだけど、そういう子は別にスイスイこなしちゃうわけね。なにが難しいのかわかんない。なんか別な格差が浮き彫りになっちゃう。受験競争に必要なものはやらなくていいと、やってこなかった代償を払わされちゃうわけです。

結局ボクらもグズを教育して使うしか無いんだけど、そもその考え方が間違ってるからね。もう時間と労力がばかりかかるわけ。なんといつても、学校や世間から刷り込まれた洗脳のアンインストールにやたらと手間と時間がかかる。

相手が素直な子じゃなきゃね。こつちが根

かったからねボクも。とにかくなんでもかんでも、数字、数字でしょ。そんなんで何がわかるのかって思うでしょ。数字ってのはひとつの指針として存在しているのはいいんだけど、指針じゃなくて、数字を取ることが目的になっちゃうてる。そうなると制作現場もね、なんていうか、ことなかれ主義になってく。冒険して数字落とすより、そこそこのもの作ろうってなる。波風立てないでおこうっていう空気が、報道やドキュメンタリー作ったらだめでしょ。新しいなかではなくて、いままでの焼きなおしてみたいな企画しか通さないとすれば、政治的な関係でしか企画も通らなくなる。風通し悪いよなって感じでボクは冷めちゃったわけです。

そうやってできた番組を、ずっと見てたらそりゃね、なにも考えなくなるよなって思う。そして簡単に間違った方向に誘導されちゃうよなとも思います。今回のコロナのことも、ウクライナのこと、ほんとのことはわから

負けしちゃう。それで愛とは何かってことを考えるんだけど。エーリッヒ・フロムの『愛するということ』のなかに、愛の失敗を克服するただ一つの方法は、愛の意味を学ぶこと、その第一歩は、生きることが技術であるのと同じく、愛は技術であるということを知ることである、なんて一節があつて、余計わからなくなったりする。

日本の教育、家庭はどうなってるんだって思います。まあ、みんな被害者だろうとも思います。真面目で、フィアールコントロールされて言いつけを守った子が、どうにもならないなんて言われちゃうんだから。

うちもたかが小っほけなカフェだから。一人で頑張っても、しょーがないよなと思うのね。頑張るってできないと、イライラするでしょ。あのイライラが身体によくない。自分の身体にも、周りの身体にもよくない。だから、イライラするよりも、目の前のヒトたちと楽しく過ごす工夫のほうが大事だと、ボクは思ってるのね。楽しく過ごすには「面白い」が大事だよ。「面白い」ってのは「意外」ってことだとボクは思います。こうすると、こうなります。そんなのは「面白くない」わけね。「普通こんなことしないよー」、「誰もそんなことしませんよー」、それが「面白い」の。

あのね。「面白い」の語源って知ってる？

ないですよ。ただ、テレビで煽ってるのは、煽ってる意図があるわけで、それには乗らない、警戒することは大事です。テレビが悪いから日本がこうなったのか、日本がこうなったからテレビも悪くなったのかはしりませんが、とにかくそういう冷めた気持ちで背景にあつて、ボクはカフェを始めたんですね。

カフェをはじめてからは、若いヒトたちの習性、お金について、食の安全について考えた。カフェに志願してくるヒトって思ったより多いんですよ。年間で何十人と面談します。うちは、圧倒的に異業種からの転職志望が多い。教師、スチューワーズ、看護婦、保育士、金融。その子達と面談するとだいたい、相手は号泣する。生い立ちやいまに至るまで、たっぷり傷ついているのね。それをボクは見抜いて聞くから。

毒親に育てられました。いい子でいました。だけど、なんか違うと思いました。結婚

教えようか？日本書紀の神話のなかにその語源が書いてあるのよ。ボクはこの神話が好きでね。「面白い」が世界を救う。

そういう、話なんだよ。

素戔嗚尊(すさのうのみこと)って神様が再三にわたって悪いことをしてた。それを見かねた天照大神(あまてらすおおみかみ)が、怒って天の岩戸を閉ざして隠れちゃった。

太陽神である天照大神が洞窟に隠れちゃったから、世界は真っ暗。極夜だね。

それでみんな困っちゃった。それで残された神々が、こりゃやばいから、なんとかしなくてはって考えた。なかでも知恵の神である思兼神(おもいかねのかみ)に作戦を考えてもらった。

どんな作戦かっていうとね。思兼神は口を開いた。みんなは固唾を飲んで聞き入った!! 「まず芸能の神様である天宇受売命(あめのうずめのみこと)にですね、岩戸の前に来てもらいます。そして、思い切つてえいやつと、オッパイを出してもらうんです。ええ。思い切つて。そして、できることなら、これはまあ、ご本人の意志も確認してですが、下の方も脱いでもらっちゃう。そして岩戸の前で踊ってもらうんです」

神々はそのあまりの名案ぶりに興奮した。興奮しすぎて、鼻血を出してる神様までいる。